第２号様式

# SDGs達成に向けたチェックシート

| 記入日 | 2025/8/1 | 企業名 | 株式会社イワサキ経営 |
|---|---|---|---|

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

| No | 側面(分類) | チェック項目 | 取組例 | 現在実施している具体的な取組<br>今後実施予定の取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 環境 | 温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。 | ・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握<br>・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施<br>・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入 | ・電力時計でエネルギー使用量を見える化<br>・オフィスの電気を昼休みや残業時間の消灯、使用しない部屋のこまめな消灯などの活動を実施<br>・担当者ごとに客先の地域を分けることで、ガソリン使用量の削減を実施<br>・沼津本社に太陽光発電を設置<br>・沼津本社の断熱対策を行う | | | | | | | ● | | | | | ● | ● | | | | |
| 2 | 環境 | 事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。<br>3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。 | ・廃棄物の削減計画の推進<br>・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施<br>・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進<br>・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施 | ・FAXや研修資料の紙出力の廃止<br>・プラスチックごみの分別の実施<br>・自社備品を大切に取り扱う指導を行うことによる長期利用の促進<br>・税務申告書類確認の完全ペーパーレス化<br>・事務用品のプラ製品削減（プラ製封筒を用いた郵送の廃止、クリアファイル削減等）<br>・沼津本社に設置している自動販売機のペットボトル製品を100%リサイクルペットボトルにする | | | | | | | | | ● | | | ● | ● | ● | ● | | |
| 3 | 環境 | 健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。 | ・海や山などにおけるゴミ拾い活動<br>・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用<br>・市の自然環境保全活動への協力・賛同 | ・地域清掃の定期的な実施<br>・ゴミ拾いウォーキングイベントの定期的な実施<br>・耕作放棄地を自社農園として買い取り活用 | | | | | | | | | | | | ● | ● | ● | ● | | |
| 4 | 社会<br>環境 | 事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。 | ・認証製品など非合法材でない原材料の調達<br>・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請 | ・作業依頼や食品購入等で障害者事業所の商品を選んで調達<br>・事務用品調達の際に、グリーン商品を優先して購入する | | | | | | | | | | ● | | ● | ● | ● | ● | | |
| 5 | 経済<br>社会 | 商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。 | ・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備<br>・不具合発生時の対応手順の整備<br>・ISO9001の取得 | ・税務品質において、複数回のチェック体制を実施<br>・クレーム対応は、経営計画書に対応方法が記載<br>・「即行の実践」スピーディーに行動する<br>・会計帳簿の品質証明となる「書面添付」率を増やす | | | | | | | | ● | ● | | | ● | | | | | |
| 6 | 経済<br>社会<br>環境 | 環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。 | ・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供<br>・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮<br>・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発 | ・人手不足解消に繋がるIT活用した業務負荷削減サービスの提供<br>・顧問先と社会課題解決に向けた取り組みを実施<br>・学生に社会課題解決につながる探究授業を実施 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 7 | 経済<br>社会 | 長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。 | ・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている<br>・テレワークの導入<br>・早帰り、ノー残業デーの推進 | ・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている<br>・在宅勤務の導入<br>・毎週水曜日ノー残業デーを実施<br>・健康経営への取り組みを実施、健康経営優良法人ネクストブライト1000を取得<br>・上司との定期的な1on1ミーティングの実施<br>・有給休暇の最低取得日数を年間８日にする<br>・メタバース職場の開設 | | | ● | | ● | | | ● | | ● | | | | | | | |
| 8 | 社会 | 年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。 | ・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている<br>・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備<br>・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進 | ・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている<br>・短時間勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進<br>・産休・育休制度の推進：育児休業取得率女性１００％<br>・定年75歳に延長<br>・女性活躍に関する対外的セミナーを開催<br>・男性の育児休暇取得率を８０％以上とする<br>・障害者、外国人などの多様な人材を積極的に採用していく<br>・女性管理職を増やす取組を実施 | | | | | ● | | | ● | | ● | | | | | | | |
| 9 | 社会 | セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。 | ・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定<br>・ハラスメント研修の実施<br>・ハラスメント相談窓口の設置 | ・ハラスメント相談窓口（ウェルネス相談室）の設置<br>・ハラスメント研修の実施<br>・職場環境改善委員会の設置 | | | | | ● | | | ● | | | | | | | | | |
| No | 側面(分類) | チェック項目 | 取組例 | 現在実施している具体的な取組<br>今後実施予定の取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 10 | 経済<br>社会 | ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。 | ・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進<br>・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮 | ・様々なデータをクラウド保存、VPN接続を実施することによる在宅勤務の推進<br>・クラウドツール活用による業務効率化による作業時間短縮<br>・生成AIの研修実施、有料プランの契約で、社内への生成AI活用の推進<br>・生成AIの浸透をさらに図り、単純作業時間を削減、生産性が高い仕事にシフトする | | | | | | | | ● | ● | | ● | ● | | | | | |
| 11 | 社会 | 若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。 | ・インターンシップの受入<br>・市外在住の求職者への説明会の実施<br>・WEBなどを活用した若者向けの情報発信 | ・インターンシップの積極的な受入（大学生以外も可）<br>・地域の中学・高校への職業講話、探究授業の実施、就業体験等の受入<br>・SNSや動画を活用した若者向けの情報発信<br>・地域住民が楽しめるイベントを開催 | | | | ● | | | | ● | | ● | | | | | | | |
| 12 | 社会 | 疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。 | ・ストレスチェックの実施<br>・メンタルヘルス研修の実施<br>・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備 | ・ストレスチェックの実施<br>・メンタルヘルス研修の実施<br>・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備<br>・健康管理士の導入<br>・個人LINEから相談できる「ウェルネス相談室」の導入 | | | ● | | | | | ● | | | | | | | | | |
| 13 | 経済<br>社会 | 全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。 | ・職務、役割等に応じた研修の整備<br>・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する | ・職務、役割等に応じた研修の整備<br>・社外セミナーへの費用補助等、従業員の学びを支援<br>・社内外向けセミナーの動画共有やオンデマンド学習の契約等で、従業員が自主的に学習する支援する仕組みの構築<br>・インターンシップの受入実施<br>・資格取得支援（業務時間、交通費）<br>・地域の経営者向けに研修を実施 | | | | ● | | | | ● | | | | | | | | | | ● |
| 14 | 社会 | 反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。 | ・コンプライアンスについて社内規程の策定<br>・コンプライアンス研修の実施<br>・コンプライアンス違反通報窓口の設置 | ・個人LINEから連絡できる「ウェルネス相談室」の導入<br>・コンプライアンスについて社内規程の策定（就業規則）<br>・コンプライアンス研修の実施<br>・内部通報ルートを確立 | | | | | | | | ● | | ● | | | | | | ● | |
| 15 | 経済<br>社会 | 自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。 | ・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置<br>・推進計画に基づく取組の運用 | ・SDGs担当部署を設置<br>・SDGs推進計画を定め運用 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 16 | 経済<br>社会<br>環境 | 自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。 | ・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | |
| 17 | 自由記述 | 経済　・　社会 | | ・約1,000社の顧客企業の繋がりを用いたマッチングを実施<br>・地域活性化のため、高校生以下の子どもたちと関わりを持つ活動を積極的に推進<br>・地域活性化の大規模イベントを毎年実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。

①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること

②10項目以上記載すること